SBS 2012カップ 国際ユースサッカー

最終日

	日本	ポルトガル	韓国	静岡	勝ち点
日本		3－1	0－0 (PK4-3)	7－2	8
ポルトガル	1－3		1－0	3－0	6
韓国	0－0 (PK3-4)	0－1		2－0	4
静岡	2－7	0－3	0－2		0

きのうの結果
日本 0＝0 韓国（PK4＝3）
ポルトガル 3＝0 静岡

▽最終順位 ①U－19日本代表 勝ち点8 ②U－19ポルトガル代表 同6 ③U－19韓国代表 同4 ④静岡ユース 同0

日本苦しんで頂点

第36回SBS杯国際ユースサッカー（日本サッカー協会、静岡新聞社・静岡放送主催、エコパハウス共催）は19日、エコパスタジアムで最終戦を行った。U－19（19歳以下）日本代表がPK戦でU－19韓国代表を下し、3連勝。勝ち点8とし、2年ぶりの栄冠に輝いた。静岡ユースはU－19ポルトガル代表に3点を奪われ、3連敗に終わった。勝ち点6のポルトガルが2位。

U－19日本代表 0（0－0、0－0）0 U－19韓国代表（PK4－3）

韓国崩せずPK戦辛勝

【評】日本は最後まで韓国の堅守を攻略できず、PK戦で辛勝した。

韓国DFが2枚目の警告で退場した前半19分以降、一方的にボールを支配。しかし攻撃に工夫が乏しく、10人でゴール前を固める相手を崩しきれない。後半6分、久保のボレーはポストに嫌われ、31分の波状攻撃も体を投げ出した相手DF陣がブロック。好機を生かせなかった。

PK戦は韓国の3人目を止めたGKポープの活躍が光った。

U－19日本代表－U－19韓国代表　前半、ヘディングでゴールを狙う日本の矢島（6）＝エコパスタジアム

前半19分。韓国に早くも退場者が出たことで、U－19日本代表の司令塔熊谷は「逆にやりにくくなってしまった」という。自陣に引きこもる相手のゴールを最後までこじ開けられず、勝負はPK戦へ。勝つには勝ったが、また一つ課題を突き付けられた。

1人少なくなり、カウンター狙いを鮮明にした韓国に対し、試合を完全に支配した。ところが、チームの武器だった佐藤のクロスは簡単にはね返され、久保の強引な仕掛けも実らない。

ハーフタイムに吉田監督は「ボールを幅広く動かし、中央のスペースを突け」と指示した。しかし、攻撃のテンポは上がらないまま時間が過ぎ、攻撃陣のフラストレーションはたまる一方だった。

初戦の強豪ポルトガル戦は、リズム良くパスをつないで3点を奪った。しかし、それは「相手が前に出てきてくれたから」（熊谷）という。引いた相手をどう崩すか。U－20W杯出場権が懸かった11月のアジア選手権（UAE）まで、時間は限られている。

「今大会はすべて本番のつもりで戦った」という吉田監督は「90分間で勝ちきる強さがなければ、UAEでは苦しい戦いになる」と総括。若い選手の経験の乏しさを指摘し、所属クラブでの定位置奪取を求めた。

【韓国】4・4・2
GK ポープ（東京Vユース）
DF 呂（新潟ユース）
ヒジクヒ（神戸）
ユン（熊本・大津高）
ヨン（名古屋）
ヒジクヒ（浦和）
デンジュン（横浜ユース）
ウンジュン（広島ユース）
ウンスミ（アカデミー福島）
ヨンスミ（京都）
ヨンジュン（北九州）
MF ソ（東京Vユース）
チャ（新潟ユース）
クム（神戸）
パク（熊本・大津高）
カキ（名古屋）
イム（浦和）
イム（横浜ユース）
イキ（広島ユース）
ナキ（アカデミー福島）
FW ソ（京都）
ポ（北九州）
【日本】4・4・2
GK 川岩（FC岐阜）
DF 植田（矢島）
佐野瀬（小野瀬）
矢島（横浜FC）
熊谷（渡）
津本（韓）
松久（チェ・ジュンギ）
MF 野（キム・ジミン）
渡（イ・ジミン）
FW 九（イ・ケンフン）
ソン・ボンジェ（ユ・スンウ）
イ・ミョンジェ（ナ・ソンス）

日本「組織的に成長」

U－19韓国代表ソ・ヒョウォン監督の話

（退場者を出す）厳しい状況の中、選手はよく戦ってくれた。所属チームの事情もあり、プロ選手は3人しか来ていないが、この大会で（大学生など）他の選手の潜在能力を見たいと思っていた。日本は組織的に成長している。

静岡 ポルトガルに完敗

U－19ポルトガル代表 3（0－0、3－0）0 U－19静岡ユース（6）（0）

▽得点者【ポ】ピナ（シルヴァ）アルヴェス（なし）メネーゼス（アルヴェス）

【評】静岡は個の力の差を埋めきれず、3失点で完敗した。

力と速さで劣り、中盤で競り負けて押し込まれる展開が続いた。

前半はゴール前で踏ん張ったが、加賀美が2度のカウンターの好機を生かしきれず、無得点で折り返した。

後半3分、ダイナミックな展開から先取点を奪われた。攻撃的な選手を相次いで投入したが、得点には至らず。

後半に本領発揮

○…U－19ポルトガル代表は後半、力の差を見せつけた。圧倒的なスピードとパワーで先制した。3分にシルヴァが右サイドを突破。鋭くゴール前に折り返し、ピナが豪快に蹴りこんだ。「前半は静岡ユースに苦しめられたが、後半は私たちが勝っていた」とボルジェス監督は話した。

来年のU－20W杯出場を決めた欧州予選の出場メンバーは4人だけ。10人が国際大会初出場というフレッシュなチームだが、「この中からもU－20W杯に出場する選手が出てくると思う」と選手の底上げを示した指揮官は満足そうだった。

32分に中央を崩され失点し、終了間際にもCKからダメ押し点を決められた。

世界レベル実感

サッカー王国で育った若き精鋭たちが、世界レベルを肌で感じた。「海外のチームにはスピードとパワーがあった」。1歳上のチームを相手に3連敗に終わり、静岡ユースの川口監督は力の差を認めた。

ポルトガルとの最終戦。途中まで必死に食い下がり、互角の戦いを見せた。前半21分に梅村のボール奪取から決定機を演出。前半ロスタイムにも縦パスを通し、加賀美が惜しいシュートを放った。

終盤に地力の差が出たが、「今までで一番良い試合だった」と川口監督。力を出し切ったからこそ、世界との差もはっきりと感じ取ることができた。

「1年後にはこのレベルに対抗できなくてはいけない。この仲間を大切に、自分を磨き続けてほしい」。川口監督は試合後、県内の高校やJクラブの育成組織に所属する〝ダイヤの原石〟たちに語りかけた。中学時代から一緒に戦ってきた県選抜チームの集大成と位置付けた大会が終わった。

静岡ユースーU－19ポルトガル代表　後半、加賀美がボレーシュートを放つ＝エコパスタジアム

【ポルトガル】4・3・3
GK ラシインス（オラス）
DF レーンェィゼ（ラシインス）
ヴァェイルネボ（レーナシティーゼ）
ヴヴテマメバ（ルヴァーリュ）
カルヴァルセアス
ガディルレイ（ヴァェイルヴァイア）
ディシア（ルレイア）
MF 三（ユース高）13
藤（清水商高）H
黒（清水ユース高）K
渡（静岡学園高）K
梅（清水東高）K
辺（静岡学園高）K
加賀美（藤枝東高）F
牲（清水ユース高）
松（浜松開誠館高）
西（静岡学園高）
望（磐田ユース高）
三（清水ユース高）
藤（静岡学園高）
黒（清水ユース高）
渡辺吉（磐田ユース高）
梅村（清水ユース高）
渡辺月（静岡学園高）
加賀美（藤枝東高）
【静岡】4・5・1
GK 佐野（磐田ユース）6
FW 宮村（清水商高）7
枝（渡辺吉）3
東（清水商高）中12
高（梅村）
【ポ】ローザ（マルティンス）
ピナ（ディアス）フレイタス（カルヴァーリョ）アルヴェス（アレイアス）ロドリゲス（テイシェイラ）